

広報原市の活動

コーディネートと連絡会を持ち、聞き取った内容の情報共有を行い、今後の対応について相談・検討している。

き、原則、各課からの掲出の申し出によるが、今後は大きなイベントの告知を広報誌に掲載する場合、担当課と連携を図り、HPへの掲出をする相談をし、市民が最も求めている情報をタイムリーに提供できるように努めたい。

日程が直前に迫っている場合でも積極的に掲載したい。
問 各課の広報に対する意気込みと、HPのトップページのレイアウトやバナーのあり方はどう考えているか。

DeNAベイスターズの三浦大輔選手は本市に多大な貢献をしていた。3年前、三浦選手が出身小学校の真菅北小学校で収録されたNHKの番組の告知をしたナビブラザ、万葉ホールの大きなビジョン、本庁の1階モニターの有効な活用法は。

幅広い分野で連携が図れる。今年9月からは広報の経験が豊富な者を一般任期付職員とし採用しており、今後はできる限りプロの視点、ケースに応じ学生の活用など積極的な取り組みを進めて行きたい。

問 リオ五輪、女子バドミントン・ダブルスで初の金メダルに輝いた本市出身の高橋礼華選手と松友美佐紀選手のブリックビユーイング開催告知が、広報誌で大きくされたが、ホームページ（HP）の事前対応が遅かったのでは。

問 8月24日に日本TVの「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」で昆虫館が20分と長時間紹介されたが、HPには「放映されました」と事後報告の掲載がされた。このような話題性のある内容を広報するのがHPであり、発信力が必要だと思うが。

問 早い時期に内容が正確にわかる場合は各課の判断で掲載するかどうか対応している。各課との広報情報の連携・共有は、広報誌に掲載する内容や表現を含めて図っているが、HPの発信は各課がリアルタイムで情報発信でき、全て連携・共有することは難しい。しかし、HP情報は、可能な限り、部門間で連携・共有が必要なもの、コンテンツを掲載する担当課に対し、助言などを行えるようにしたい。

問 3カ所あるモニターの取り扱いは、各施設の特長や、施設利用者の利便性の向上を検討する必要がある。改善できる範囲の中で進めたいが、当面は現状どおりに運用したい。ただ、凱旋パレードなどは、全てのモニターで共通して表示できる内容で、可能な範囲で対応していきたい。

問 3月に策定された「檣原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「『檣原』の魅力を広く発信する」とあるが、どう取り組んでいくのか。



タカマツペア

問 昆虫館を全国にアピールする絶好の機会であったが、HPの掲載、対外的に放送案内をしなかったことは、おしいことをしたと反省している。今回、TV局からの放映決定の連絡が直前であったため、HPには掲載できなかった。今回の放送後、問い合わせが多数あり、入館者が昨年同時期に比べ、翌日の8月25日から9月7日までの間で2,789人増え、72%増となっている。TVの影響力は大きく、HPに掲載することで、PR効果を高められるため、今後、

問 このたび引退された

問 奈良芸術短期大学にはデザインやメディアの関係を学んでいる学生もおり、本市とも協定を結んでおりセールスプロモーションの手法を生かせると思うが芸術短大への働きかけ及び広告業界の経験がある専門家の登用などの考えは。

問 総合戦略には「来訪者の増加を図る」とあり、その中に「飛鳥・藤原のみならず、中南和への玄関口として」と

問 広報誌とHPは、それぞれの特性に応じた活用を行っている。広報誌は締め切りを設けて運用を行っているが、HPはリアルタイムで掲出で

問 効果

問 効果

問 効果

問 効果